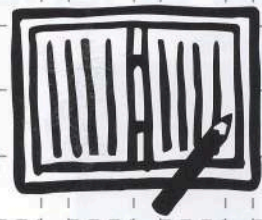
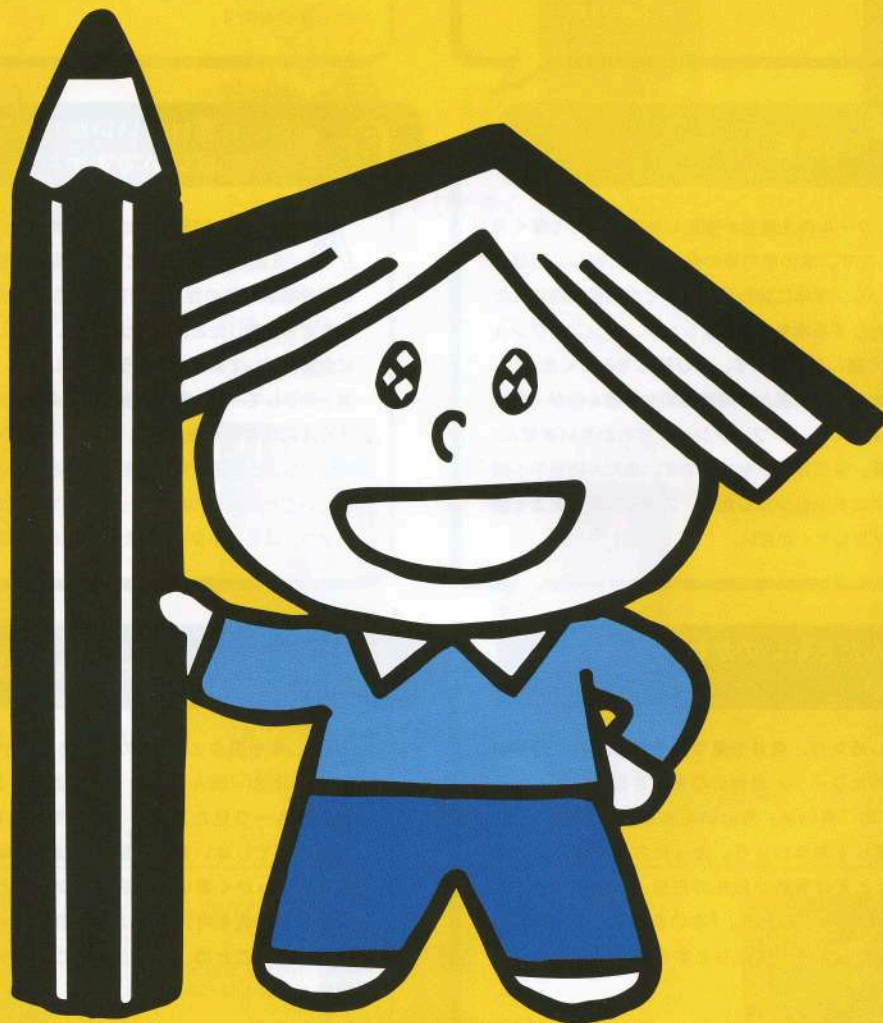


読書感想文



Q&A



伝説の感想文は、
キミから生まれる。

● 主催 公益社団法人 全国学校図書館協議会・毎日新聞社

● お問い合わせ 青少年読書感想文全国コンクール事務局
〒102-0074 東京都千代田区丸の内1-6-17 千代田会館 毎日企画サービス



読書感想文

Q & A

「読書感想文をどうやって書いたらいいかわからない」
「どんな本を読んだらいいかわからない」
そんな声にお答えします。
さあ、読書感想文にチャレンジしよう！



イメージキャラクター おほんちゃん

Q なぜ、本を読むことが大切なのですか。

A 一冊の本が、人生を変えてしまうことがあります。本の中で旅をしたり恋をしたり、冒険をしたり……。人は本の中でいろいろなことを体験できます。登場人物と自分の生き方や考え方を比べて、共感したり反発したりします。また、本を使って、疑問に思ったことを解決するために調べることもできます。本を読んで新しいことを知ると、びっくりしたりうれしくなったりします。本は、人の心を成長させてくれ、いろいろなことを教えてくれる友だちです。

Q 読書感想文は、何のために書くのですか。

A 書くことによって考えを深められるからです。読書感想文を書くことを通して思考の世界へ導かれ、著者が言いたかったことに思いをめぐらせたり、わからなかったことを解決したりできるのです。ですから読書感想文は「考える読書」とも言われます。また、どんなに強く心を動かされても、時間がたてばその記憶は薄れてしまいます。読書感想文は自分自身の記録です。読み返すことによって、いつでも「感動した自分」に出会うことができるのです。

Q 「課題読書」・「自由読書」って何ですか。

A 読書感想文コンクールの主催者が指定した本を読んで書くのが「課題読書」です。本の専門家の先生方が、新しく出版されたたくさんの本の中から、学年に合わせて、多くの感動を得られたり新たな知識を得られたりする本を、フィクション、ノンフィクション、外国作品など幅広く選んだものです。ぜひ読んでみてください。一方、自分で読みたい本を自由に選んで読書感想文を書くのが「自由読書」です。フィクションでもノンフィクションでもかまいません。読書感想文は「読書の幅」を広げるチャンスです。ふだん物語や小説をよく読む人は科学の本にチャレンジしたり、スポーツの本をよく読む人は伝記を読んでみたりしてください。

Q 何をどう書けばいいかわかりません。どうすればいいですか。

A 本を読んで自分がどこに感動したのか、なぜ感動したのかを考えましょう。そしてもう一度本を読んでみましょう。自分の生き方や経験と本の世界とを照らし合わせると、いろいろなことが見えてきます。感じたこと、思ったこと、連想したことなどを忘れないうちに全部メモしておきましょう。そうしたら、順番を入れ替えたり内容を補ったりして、どう書けば自分の心の動きにぴったりするか、それがうまく人に伝わるかを考えましょう。先生や家の人と相談してみるのもいいでしょう。そうするうちに何をどう書けばいいのか、自分が一番言いたいことは何なのかははっきりしてきます。書き終わった時には、それまでとはどこか少し違った自分になっていることに気づくはずですよ。

Q どんな本を読んだらいいのかわかりません。教えてください。

A 思いっきり楽しめたり、自分を見つめなおしたり、新しいことを教えられたり……。自分の心を突き動かしてくれる本が、その人にとっての「良い本」だといえます。自分に合った、心を動かされる本を探してみましょう。迷ったら、自分のことをよく知っている人、たとえば家族や担任の先生、教科の先生、部活の顧問の先生に相談してみましょう。「本の専門家」の図書館の先生に相談してもいいでしょう。友だちと本を紹介し合うのもいいですね。

Q 題名はどうつけたらいいですか。

A 本を選ぶとき、本の題名を見ながら「おもしろいかなあ？」とか「読んでみようかなあ？」と考えることはありません。題名一つ見ただけで「読んでみたい」とか「読みたくない」とか思ってしまう。魅力的な題名は人をひきつける力があります。せっかく書いた読書感想文ですから、人が読んでみたくなるような題名を考えましょう。自分が一番感動したことやもっとも言いたいことの、中心となることばを考えて題名にするといいでしょう。

Q 読んだ本の本文や解説などを引用してもいいですか。

A 読書感想文は、本を読んだ自分の思いや心の動きを中心に書くものですから、できるだけ自分のことばを使って書くようにしましょう。確かに解説やあとがきなどは、本の世界をより深く理解するために参考になることがあります。ですから、場合によっては引用する必要が出てくるかもしれません。引用する場合は、一字一句本文と違わないように書いて、必ず「」（カギかっこ）でくくりましょう。

Q 字数は規定の字数以内なら何字でもいいですか。

A 本を読んだ感動や本を読んだ考えたことを、人に伝えるように十分に書き表すためには、ある程度のことばの量が必要です。心の中のあるふれる思いを、たくさんのことばを使って表現してみましょう。字数の規定はいわばことばで表現できるグラウンドの広さです。せっかく広いグラウンドが用意されているのに、それを自分で狭くする必要はありません。規定の字数をなるべくいっぱい使って、思いっきり読書の感動を表現してみましょう。

第72回 青少年読書感想文全国コンクール 課題図書

小学校 1・2年生



まこちゃん と コトバロボ
村上しいこ 作
たんじあきこ 絵
定価 1,540円(本体 1,400円)
ISBN978-4-333-02944-0
〈佼成出版社〉



なにが いいこと あった?
ミーシャ・アーチャー 作
石津ちひろ 訳
定価 1,870円(本体 1,700円)
ISBN978-4-7764-1147-5
〈BL出版〉



ララの まほうのことば
グレーシー・ジャン さく
やのあやこ やく
定価 1,980円(本体 1,800円)
ISBN978-4-7692-0514-2
〈工学図書〉



たねはいのちのおわりとはじまり
鈴木 純 著
定価 1,540円(本体 1,400円)
ISBN978-4-89309-747-7
〈ブロンズ新社〉

小学校 3・4年生



まだまだここから
宇佐美牧子 作
酒井 以 絵
定価 1,540円(本体 1,400円)
ISBN978-4-591-18596-4
〈ポプラ社〉



それからぼくはひとりで歩く
アリシア・モリーナ 作
星野由美 訳
犬吠徒歩 絵
定価 1,595円(本体 1,450円)
ISBN978-4-593-10534-2
〈ほるぷ出版〉



おいしいお米をつくりたい!
:ゆうちゃん、小学生で農家に弟子入りしました
谷本雄治 著
定価 1,980円(本体 1,800円)
ISBN978-4-8113-3321-2
〈汐文社〉



宇宙でウンチ
:みんなの知らない宇宙トイレのみみつ
A・ボンドー=ストーン、C・ホワイト 作
L・ケンセス 絵
千葉茂樹 訳
定価 1,650円(本体 1,500円)
ISBN978-4-7515-3236-2
〈あすなる書房〉

小学校 5・6年生



ポジション!
高田由紀子 作
定価 1,650円(本体 1,500円)
ISBN978-4-265-84067-0
〈岩崎書店〉



リヒト!
イノウエミホコ 作
定価 1,650円(本体 1,500円)
ISBN978-4-580-82672-4
〈文研出版〉



ミシュカ
エドワルト・ファン・デ・フェンデル、
アヌッシュ・エルマン 作
アネット・スカーブ 絵
野坂悦子 訳
定価 1,815円(本体 1,650円)
ISBN978-4-86389-846-2
〈静山社〉



キミの一步
:ゾウを食べるにはひと口ずつ
味田村太郎 文
定価 1,980円(本体 1,800円)
ISBN978-4-251-09643-2
〈あかね書房〉

中学校 の部



君の火がゆらめいている
落合由佳 作
定価 1,650円(本体 1,500円)
ISBN978-4-06-541452-1
〈講談社〉



チーム・テス だいじょうぶ
カービー・ラーソン &
クイン・ワイアット 作
杉田七重 訳
定価 1,870円(本体 1,700円)
ISBN978-4-7902-3446-3
〈鈴木出版〉



リュウグウの砂に挑む
:チームで小惑星の
サンプルを分析
伊藤元雄 著
定価 1,760円(本体 1,600円)
ISBN978-4-7743-3447-9
〈くもん出版〉

高等学校 の部



スウィッシュ!
藤ノ木 優 著
定価 1,980円(本体 1,800円)
ISBN978-4-19-866075-8
〈徳間書店〉



ノアム・ガーデンズの家
ベネロピ・ライヴリー 著
斎藤倫子 訳
定価 1,980円(本体 1,800円)
ISBN978-4-902257-48-9
〈ゴブリン書房〉



平和のうぶごえ
:「原爆の子」として生きた80年
早志百合子 著
定価 2,420円(本体 2,200円)
ISBN978-4-620-32839-3
〈毎日新聞出版〉

第72回青少年読書感想文全国コンクール応募要項(抜粋)

対象図書

○課題読書

主催者の指定した図書(課題図書)。
同一部内における学年指定はありません。

○自由読書

自由に選んだ図書。フィクション、ノンフィクションを問いません。

*教科書、副読本、読書会用テキスト類またはこれに準ずるもの、雑誌(別冊付録を含む)、パンフレット類、日本語以外で書かれた図書および課題図書は対象としません。ただし、課題図書であっても該当の部以外であれば、自由読書として応募することができます。

*点訳・音訳を利用した読書の場合は、その理由および原本、点訳・音訳したものの情報を添えてご応募ください。

応募資格および区分

応募者の年齢は満20歳まで(2006年4月2日以降に出生の者)とします。

応募者の在籍する校種等によって、応募を次の5部10区分とします。

- ①小学校低学年の部(1、2年生)……………課題読書・自由読書
- ②小学校中学年の部(3、4年生)……………課題読書・自由読書
- ③小学校高学年の部(5、6年生)……………課題読書・自由読書
- ④中学校の部……………課題読書・自由読書
- ⑤高等学校の部……………課題読書・自由読書

*特別支援学校はそれぞれの対応する部に、中等教育学校および中高一貫校の「前期課程」は中学校の部に、「後期課程」は高等学校の部に、義務教育学校はそれぞれの学年に対応する小学校の各部および中学校の部に応募してください。

用紙・字数

①原稿用紙を使用し、縦書きで自筆してください。原稿用紙の大きさ、字詰めに規定はありません。

②文字数については下記のとおりです。

- 小学校低学年の部(1、2年生)……………本文 800字以内
- 小学校中学年の部(3、4年生)……………本文 1,200字以内
- 小学校高学年の部(5、6年生)……………本文 1,200字以内
- 中学校の部……………本文 2,000字以内
- 高等学校の部……………本文 2,000字以内

③句読点はそれぞれ1字に数えます。改行のための空白か所は字数として数えます。

④題名、学校名、氏名は字数に数えません。

応募作品

①応募は日本語で書かれた作品に限ります。

②応募は課題読書、自由読書それぞれに一人1編ずつ応募できます。

③応募は個人のオリジナルで未発表の作品に限ります。他の類似コンクールとの二重応募は認めません。

④盗作や不適切な引用等があった場合、審査対象外になることがあります。

⑤入賞・入選作品は理由を問わず返却しません。

応募締め切り

締め切りは都道府県により異なります。詳細は在籍校の図書館の先生または、青少年読書感想文全国コンクール Web サイトに掲載の【問い合わせ先】にお問い合わせください。

作品と氏名等の使用・公表と著作権 ※ご了承のうえ、ご応募ください。

①応募作品・題名・対象図書名、および応募者氏名・学校名・学年は、公表することがあります。

②入賞・入選された方の応募作品・題名・対象図書名、および応募者氏名・学校名・学年は主催者の刊行物や Web サイトで公表します。また、テレビ、ラジオ、雑誌、書籍、教材等各種媒体で使用・公表することがあります。

③入賞・入選作品の著作権は、賞の確定と同時に主催者に譲渡されます。ただし、本人および在籍校の利用は妨げません。

作品提出

本コンクールは学校を通じてご応募いただくコンクールです。在籍校が本コンクールに参加することによって応募が可能となります。したがって、個人の方からの直接応募は受け付けておりません。なお、在籍校が本コンクールに参加しているか不明な場合は、各在籍校へご確認ください。

※詳しい要項は青少年読書感想文全国コンクール Web サイトをご覧ください。

公式ホームページ <https://www.dokusyokansoubun.jp>

2025年度

第71回

青少年読書感想文全国コンクール
入賞作品集

考える読書

全国学校図書館協議会 [編]



定価2640円(税込)
978-4-620-52094-0

巻末に入選者一覧も収録。	112作品を一冊に掲載。	各部門のコンクールを勝ち抜いた	課題読書、自由読書の各区分、	文部科学大臣賞をはじめ	内閣総理大臣賞、
--------------	--------------	-----------------	----------------	-------------	----------

毎日新聞出版

お問い合わせは毎日新聞出版 営業本部まで

自分らしい
感想文とは
何か？

入賞作品にふれることで、

主題のとらえ方 読解力・表現力

がわかり、

も養われます！

読書感想文指導の参考に最適です！

第71回コンクールのあらまし

この青少年読書感想文全国コンクールは、青少年の良書に対する関心を高め、読書指導の一助になればと、1955(昭和30)年に創設されました。約5万編の応募作品からのスタートでしたが、今回、第71回のコンクールには、全国の小学校・中学校・高等学校・海外各地の日本人学校など合わせて23536校から、計2031259編の作品が寄せられました。

本書のタイトル『考える読書』は、1965(昭和40)年、第11回コンクールの折、当時の皇太子殿下(現在の上皇さま)より「みなさんが考える読書の習慣をりっぱに身につけていることを知り、ほんとうに心強く思いました」とのおことばにちなんだものです。

応募作品は各学校や市区町村で選抜され、都道府県のコンクールを経て、その上位入賞作品が代表として中央審査会に送られます。今回の都道府県代表作品は、小・中・高合わせて520編でした。その中から112編が、内閣総理大臣賞(最優秀作品)、文部科学大臣賞(優秀作品)、毎日新聞社賞(優秀作品)、全国学校図書館協議会長賞(優良作品)、サントリ―奨励賞(奨励作品)の各賞に選ばれました。本書には、小学校・中学校・高等学校の部のすべての入賞作品を収めました。

(本書より抜粋)

収録作品

- 小学校低学年の部(1・2年生)
- 小学校中学年の部(3・4年生)
- 小学校高学年の部(5・6年生)
- 中学校の部
- 高等学校の部

※それぞれの部で「内閣総理大臣賞」「文部科学大臣賞」

「毎日新聞社賞」「全国学校図書館協議会長賞」

「サントリ―奨励賞」の入賞作品を掲載



第71回 青少年読書感想文
全国コンクール入賞作品集
考える読書

定価2640円(税込)
978-4-620-52094-0



読むこと、書くこと、自分を知ること。

第72回 青少年読書感想文 全国コンクール

主催／公益社団法人 全国学校図書館協議会・毎日新聞社

後援／文部科学省・こども家庭庁 協賛／サントリーホールディングス株式会社

応募要項

伝説の感想文は、
キミから生まれる。



青少年読書感想文全国コンクール イメージキャラクター「おほんちゃん」

公式ホームページ = <https://www.dokusyokansoubun.jp>

◆主催：公益社団法人全国学校図書館協議会・毎日新聞社

◆後援：文部科学省・子ども家庭庁

◆協賛：サントリーホールディングス株式会社

◆趣旨

- 子どもや若者が本に親しむ機会をつくり、読書の楽しさ、すばらしさを体験させ、読書の習慣化を図る。
- より深く読書し、読書の感動を文章に表現することをとおして、豊かな人間性や考える力を育む。更に、自分の考えを正しい日本語で表現する力を養う。

◆対象図書

◎課題読書

主催者の指定した図書（課題図書）。別掲のとおりです。同一部内における学年指定はありません。

◎自由読書

自由に選んだ図書。フィクション、ノンフィクションを問いません。

*教科書、副読本、読書会用テキスト類またはこれに準ずるもの、雑誌（別冊付録を含む）、パンフレット類、日本語以外で書かれた図書および課題図書は対象としません。ただし、課題図書であっても該当の部以外であれば、自由読書として応募することができます。

*点訳・音訳を利用した読書の場合は、その理由および原本、音訳・点訳したものの情報を添えてご応募ください。

◆応募資格および区分

応募者の年齢は満20歳まで（2006年4月2日以降に出生の者）とします。応募者の在籍する校種等によって、応募を次の5部10区分とします。

- | | | |
|------------------|------|------|
| ①小学校低学年の部（1、2年生） | 課題読書 | 自由読書 |
| ②小学校中学年の部（3、4年生） | 課題読書 | 自由読書 |
| ③小学校高学年の部（5、6年生） | 課題読書 | 自由読書 |
| ④中学校の部 | 課題読書 | 自由読書 |
| ⑤高等学校の部 | 課題読書 | 自由読書 |

*特別支援学校はそれぞれの対応する部に、中等教育学校および中高一貫校の「前期課程」は中学校の部に、「後期課程」は高等学校の部に、義務教育学校はそれぞれの学年に対応する小学校の各部および中学校の部に応募してください。

◆用紙・字数

- ①原稿用紙を使用し、縦書きで自筆してください。原稿用紙の大きさ、字詰めには規定はありません。
- ②文字数については下記のとおりです。
 小学校低学年の部（1、2年生） 本文 800字以内
 小学校中学年の部（3、4年生） 本文1,200字以内
 小学校高学年の部（5、6年生） 本文1,200字以内
 中学校の部 本文2,000字以内
 高等学校の部 本文2,000字以内
- ③句読点はそれぞれ1字に数えます。改行のための空白か所は字数として数えません。
- ④題名、学校名、氏名は字数に数えません。

◆応募作品

- ①日本語で書かれた作品に限ります。
- ②課題読書、自由読書それぞれに一人1編ずつ応募できます。
- ③個人のオリジナルで未発表の作品に限ります。他の類似コンクールとの二重応募は認めません。
- ④盗作や不適切な引用等があった場合、審査対象外になることがあります。
- ⑤入賞・入選作品は理由を問わず返却しません。

◆作品提出

- ①本コンクールは学校を通じてご応募いただくコンクールです。在籍校が本コンクールに参加することによって応募が可能となります。したがって、個人の方からの直接応募は受け付けておりません。なお、在籍校が本コンクールに参加しているか不明な場合は、各在籍校へご確認ください。
- ②作品は自筆のものを提出してください（コピー不可。デジタル機器使用不可。ただし、自筆が不可能でデジタル機器を使用する、または代筆となるなどの場合は理由を添えてご応募ください）。
- ③別掲の応募票（コピー可）に必要な事項をご記入ください。この応募票を基に審査が行われます。記入もれや、誤った情報をご記入いただきますと、審査ができない場合がありますので、正確にご記入ください。
- ④ご記入いただいた応募票は、作品の一番上に貼付して、右肩をとじてください。

◆応募締め切り

締め切りは都道府県により異なります。詳細は在籍校の図書館の先生または、青少年読書感想文全国コンクールWebサイトに掲載の【問い合わせ先】にお問い合わせください。

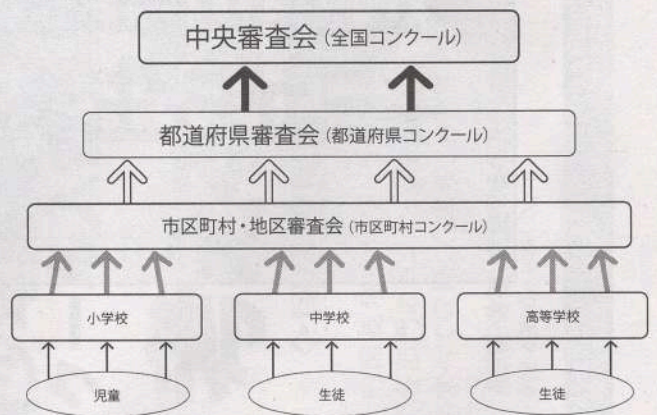
◆作品と氏名等の使用・公表 ※ご了承のうえ、ご応募ください。

- ①応募作品・題名・対象図書名、および応募者氏名・学校名・学年は、公表することがあります。
- ②入賞・入選された方の応募作品・題名・対象図書名、および応募者氏名・学校名・学年は主催者の刊行物やWebサイトで公表します。また、テレビ、ラジオ、雑誌、書籍、教材等各種媒体で使用・公表することがあります。
- ③上記公表の際には、使用している漢字を常用漢字に基づき、置き換えることがあります。

◆審査

①応募作品の審査は、都道府県審査を経て、中央審査会へと段階的に行われます。

〔段階的審査の例〕



- ②都道府県審査会において各部ごとに優秀作品を選び、各部課題読書1編、自由読書1編を中央審査会に送付します。
- ③中央審査会は東京において、小・中・高等学校関係者および学識経験者（甲斐雄一郎・文教大学教授、川北亮司・児童文学作家ほか、以上予定）などで構成する委員会で行います。
- ④海外日本人学校、補習授業校、私立在外教育施設からの作品は、全国学校図書館協議会で受け付けます（現地校のみの在籍者の応募は受け付けません）。この締め切りは2026年9月30日（水）まで（全国学校図書館協議会必着）とします。



◆入賞発表

在籍校を通じ、本人あてに通知します。同時に、2027年2月『毎日新聞』、『毎日小学生新聞』、『学校図書館』紙上および『電子版 学校図書館速報版』で発表します。

◆表彰

本人には個人賞を、在籍校には学校賞を贈呈します。

《個人賞》

◎内閣総理大臣賞（最優秀作品）

課題読書、自由読書を通じて各部1編。賞状およびブロンズ像。

◎文部科学大臣賞（優秀作品）

課題読書、自由読書を通じて各部1編。賞状およびトロフィー。

◎毎日新聞社賞（優秀作品）

課題読書、自由読書を通じて各部5編。賞状およびトロフィー。

◎全国学校図書館協議会長賞（優良作品）

課題読書、自由読書を通じて各部6編。賞状およびトロフィー。

◎サントリー奨励賞（奨励作品）

課題読書、自由読書を通じて各部10編以内。賞状およびトロフィー。

◎入選賞（入選作品）

上記の最優秀、優秀、優良、奨励作品を除く都道府県代表として認められた作品。賞状およびオリジナル図書カード。

《学校賞》

内閣総理大臣賞、文部科学大臣賞、毎日新聞社賞、全国学校図書館協議会長賞、サントリー奨励賞を受賞した児童生徒の在籍校へ、賞状、トロフィーおよびサントリー学校賞。

◆入賞・入選作品の著作権・公表

- ①入賞・入選作品の著作権は、賞の確定と同時に主催者に譲渡されます。ただし、本人および在籍校の利用は妨げません。
- ②最優秀作品、優秀作品、優良作品、奨励作品は入賞作品集『考える読書』（毎日新聞出版刊行）に掲載されます。

◆表彰式

2027年2月上旬、最優秀・優秀・優良作品の入賞者本人と在籍校の学校代表および奨励作品・入選作品の代表者を招待して、東京で表彰式を行います。

*国外在住の入賞者については旅費の一部を負担します。

※内閣総理大臣賞、文部科学大臣賞、毎日新聞社賞、全国学校図書館協議会長賞、サントリー奨励賞の受賞者が希望した場合、受賞証明書を発行します（送料実費）。詳細は入賞発表通知であらためてお知らせします。

応募締め切り

月 日()

※都道府県によっては、本応募要項の他に規定を設けている場合があります（原稿用紙の使い方、提出方法など）。詳細は在籍校にご確認ください。

※締め切りは都道府県によって異なります。締め切り日についても在籍校にお問い合わせください。

作品提出先

※児童生徒は在籍校に提出してください。

課題図書（同一部内での学年指定はありません）

◇小学校低学年の部（1、2年生）

まこちゃんとコトバロボ

校成出版社 1,540円

村上しいこ 作
たんじあきこ 絵

なにかいいことあった？

BL出版 1,870円

ミーシャ・アーチャー 作
石津ちひろ 訳

ララのまほうのことば

工学図書 1,980円

グレーシー・ジャン さく
やのあやこ やく

たねはいのちのおわりとはじまり

ブロンズ新社 1,540円

鈴木 純 著

◇小学校中学年の部（3、4年生）

まだまだここから

ポプラ社 1,540円

宇佐美牧子 作
酒井 以 絵

それからぼくはひとりで歩く

ほるぷ出版 1,595円

アリシア・モリーナ 作
星野由美 訳 犬吠徒歩 絵

おいしいお米をつくりたい！

：ゆうちゃん、小学生で農家に弟子入りしました
汐文社 1,980円

谷本雄治 著

宇宙でウンチ：みんなの知らない宇宙トイレのひみつ

あすなる書房 1,650円

A・ボンドー＝ストーン、C・ホワイト 作
L・ケンセス 絵 千葉茂樹 訳

◇小学校高学年の部（5、6年生）

ポジション！

岩崎書店 1,650円

高田由紀子 作

リヒト！

文研出版 1,650円

イノウエミホコ 作

ミシュカ

静山社 1,815円

エドワルト・ファン・デ・フェンデル、アヌッシュ・エルマン 作
アネット・スカープ 絵 野坂悦子 訳

キミの一步アフリカ：ゾウを食べるにはひと口ずつ

あかね書房 1,980円

味田村太郎 文

◇中学校の部

君の火がゆらめいている

講談社 1,650円

落合由佳 作

チーム・テストならだいじょうぶ

鈴木出版 1,870円

カービー・ラーソン&クイン・ワイアット 作
杉田七重 訳

リュウグウの砂に挑む：チームで小惑星のサンプルを分析

くもん出版 1,760円

伊藤元雄 著

◇高等学校の部

スウィッシュ！

徳間書店 1,980円

藤ノ木 優 著

ノアハム・ガーデンズの家

ゴブリン書房 1,980円

ベネロピ・ライヴリー 著
斎藤倫子 訳

平和のうぶごえ：「原爆の子」として生きた80年

毎日新聞出版 2,420円

早志百合子 著

※すべて税込み価格

問い合わせ先 ※作品送付先ではありません

公益社団法人 全国学校図書館協議会

〒113-0034 東京都文京区湯島3丁目17-1 湯島大同ビル
TEL.03-6284-3722(代) FAX.03-6284-3725

毎日新聞社青少年読書感想文全国コンクール事務局

〒102-0074 東京都千代田区九段南1-6-17 千代田会館 毎日企画サービス
TEL. 03-6265-6813 FAX. 03-6265-6837
公式ホームページ <https://www.dokusyokansoubun.jp>



学校図書館や子どもの読書に関する専門誌

学校図書館

タイムリーな教育的課題から日々の学校図書館業務まで
特集記事と多彩な連載。各地の研究・実践例も多数紹介。

※電子版 学校図書館速報版アクセス権付き

毎月1日発行 定価1,210円 本体1,100円(税込)

選書ツールとして必携の情報紙

学校図書館 速報版

毎月1・15日

紙面がカラーに! 「学校図書館」の奥付からダウンロード、プリントアウトして、冊子として活用できます。学校図書館関連ニュース、研修会情報、全国SLA選定図書リスト掲載。作家インタビューも。

毎月1・15日 年額6,600円(税込) ※直接購読のみ

公益社団法人

〒113-0034 東京都文京区湯島 3-17-1 湯島大同ビル

全国学校図書館協議会 TEL 03-6284-3722(代) FAX 03-6284-3725 <http://www.j-sla.or.jp/>



第71回 青少年読書感想文 全国コンクール入賞作品集

考える読書

全国学校図書館協議会 編

内閣総理大臣賞、文部科学大臣賞はじめ、各部門のコンクールを勝ち抜いた入賞作品をすべて収録。巻末に、入選者氏名一覧も掲載。

A5判・並製 定価2640円(税込)

978-4-620-52094-0

毎日新聞出版 〒102-0074 東京都千代田区九段南1-6-17 千代田会館5階
お問い合わせは(営業本部) TEL 03-6265-6941 FAX 03-6265-6984 へどうぞ

記入前にご確認ください

- この応募票は応募者本人、保護者が記入してください。
- わかりやすく楷書で記入し、作品の一番上に貼付し、右肩をのじてください。
- 「対象図書」欄は対象図書を特定するため、もれなく記入してください。審査会では対象図書を参照します。
- 記入もれや、誤った情報は審査ができない場合がありますので、正確に記入してください。
- 応募作品・題名・対象図書名、および応募者氏名・学校名・学年は、公表することがあります。ご了承のうえ、記入してください。



読むこと、書くこと、自分を知ること。
第71回 青少年読書感想文 全国コンクール

応募票

※提出は在籍校へお願いします

応募区分

課題読書
自由読書
(〇で囲んでください)

感想文の題名		都道府県		市区町村	
所 属	(ふりがな) 学校名	()		()	
	学校所在地・担当者名 (電話番号は市外局番から記入してください)	(〒 -) (電話 - -)	()		()
応募者	部・学年	小低・小中・小高・中学・高校	学年	年	
	(ふりがな) 氏名	()	生年月日・年齢		※高校生のみ記入
対象図書(読んだ本)	書名	※サブタイトルも必ずご記入ください			
	著者・編者・訳者・画家				
	シリーズ名・文庫名				
	発行所・発行年	発行所	発行年	初版発行年	
定価・大きさ・ページ数	定価	円(本体 円)	大きさ	縦の長さ	ページ数
感想文執筆に際し参考にした資料の有無(どちらかを〇で囲んでください)	有・無	(参考にしたもののタイトルやWebアドレス等を具体的に記入してください)			

応募作品と応募票に記入した情報を公表することがあります。すべてご同意いただいたうえで、チェック を入れてください。

了承します